

イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ  
**ON THE RUN!**



## 第97期 株主通信

2019年4月1日から2020年3月31日まで

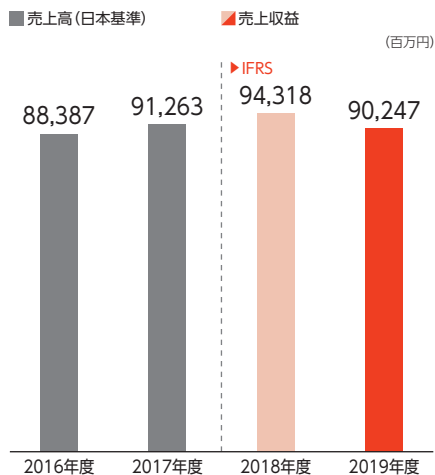
**バンドー化学株式会社**

### 2019年度 通期の連結業績ハイライト

売上収益

**90,247** 百万円

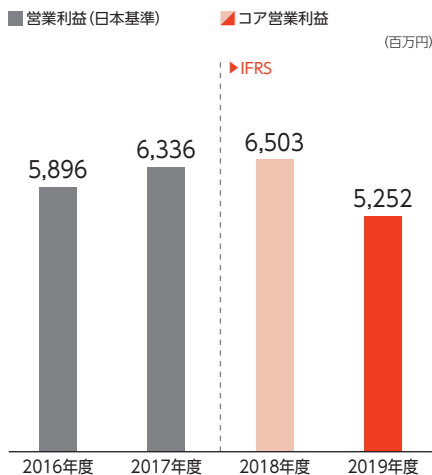
前年同期比 **4.3%減**



コア営業利益

**5,252** 百万円

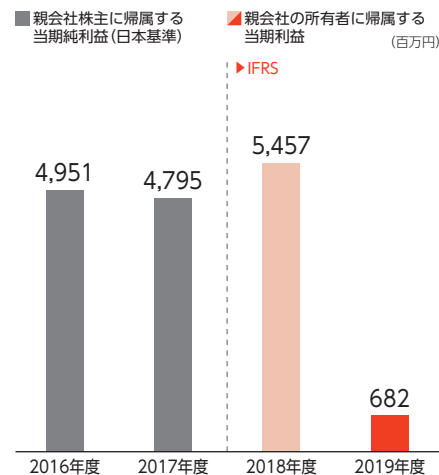
前年同期比 **19.2%減**



親会社の所有者に帰属する当期利益

**682** 百万円

前年同期比 **87.5%減**



(注) 1. 2018年度から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

2. コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しております。

### POINT

- 売上収益は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気減速の影響もあり、海外を中心に減収。
- コア営業利益は、買収子会社の新規連結による増益要因があったものの、既存事業において、減収およびセールスマックスの変動による売上原価率の悪化により減益。
- 減収に加え、買収子会社で減損損失を計上したことなどにより、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益が減益。

2020年度の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が国内外経済に大きく影響を与えており、現段階において合理的に算定・予想することが困難であると判断したことから記載しておりません。今後、状況が収束し、発表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復ならびに感染拡大の収束を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃は格別のご高配に預かり、心から御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く外部環境は、今般の新型コロナウイルスの感染拡大など、これまで予想もできなかったような事案が次々に起きており、また、IoTやAIをコアとする第4次産業革命がもたらすデジタルトランスフォーメーションが一層加速するなど、まさに時代の変曲点を迎えています。私は、このような時だからこそ、これらの変化への対応やSDGsへの取り組みなど、次代に向けた新しい事業の確立に取り組む好機であると捉えています。

足元の状況は、当社グループの主要な市場である自動車分野においては、米中貿易摩擦の長期化による景気の先行き不透明感や減速基調に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、各国の自動車生産台数が総じて前年度を下回る状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「新事業の創出」として、医療分野で特徴のある製品を展開する株式会社Aimedic MMTを子会社化し、同社事業基盤の活用により製品開発を加速する態勢としました。「コア

事業の拡大」では、粘着力の高い搬送物に対する非付着性を向上した軽搬送用ベルト「ミスターNスティック™」や運搬物の付着・堆積対策に最適な超非付着性コンベヤベルト「イーजीリリース®Neo」などの新製品の販売を開始したほか、

重点市場を定め顧客開拓を推進しました。また、革新製法の開発や自動化ラインの構築など、「ものづくりの深化と進化」にも取り組みました。

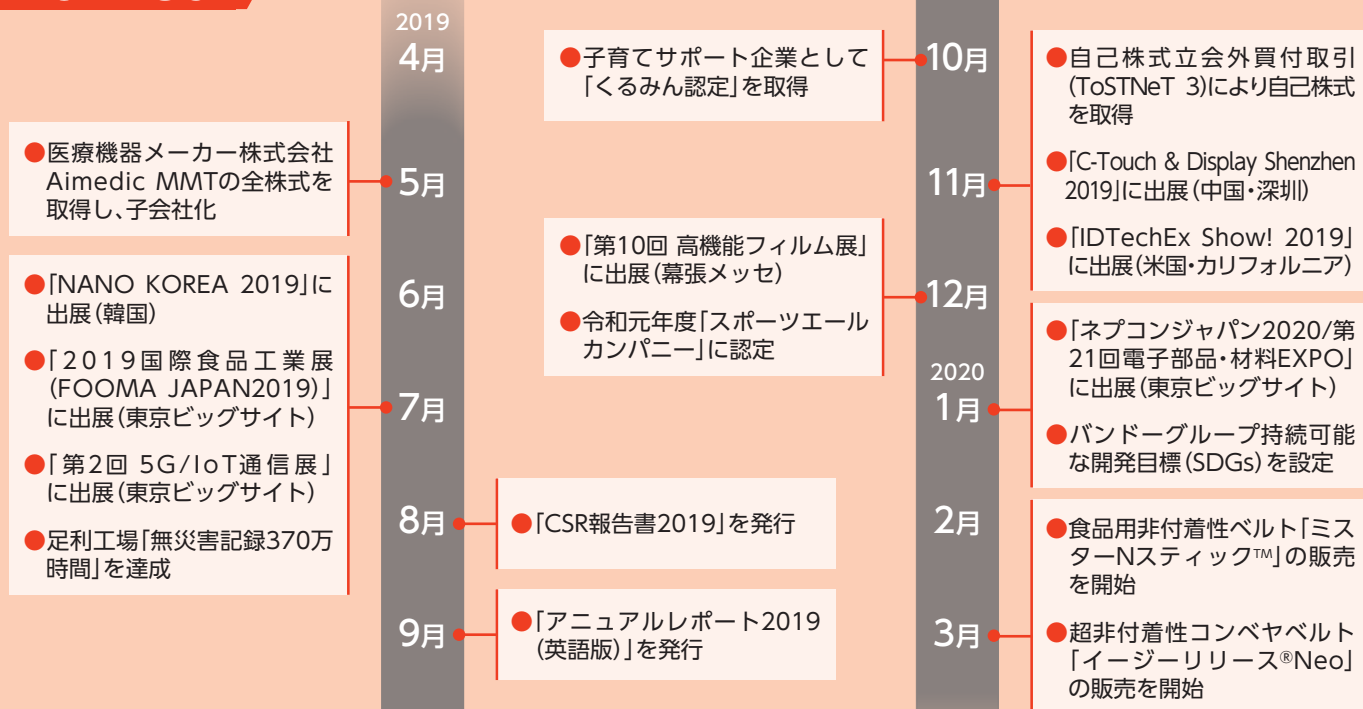
これらの結果、当連結会計年度は、売上収益は902億4千7百万円（前年同期比4.3%減）、コア営業利益は52億5千2百万円（前年同期比19.2%減）、連結子会社に係る減損損失を計上したことにより、営業利益は20億5千6百万円（前年同期比69.8%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は6億8千2百万円（前年同期比87.5%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 吉井満隆

## TOPICS



自動車部品事業			
売上収益	38,953百万円	前年同期比	6.5%減
セグメント利益	2,129百万円	前年同期比	33.1%減

- 国内では、積極的な営業活動により補修品市場向け新素材が伸長したものの、自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルト（リプエース®など）および補機駆動用伝動システム製品（オートテンションなど）の販売が減少。
- 海外では、中国において積極的な顧客開拓に注力し自動車用補修品などの販売は伸長したものの、主要顧客の自動車生産台数の減少により販売が減少。また、米国およびアジア地域においても販売が減少。

高機能エラストマー製品事業			
売上収益	13,685百万円	前年同期比	6.4%減
セグメント利益	333百万円	前年同期比	45.9%減

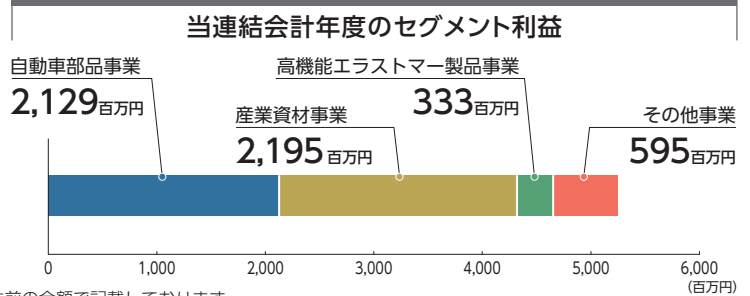
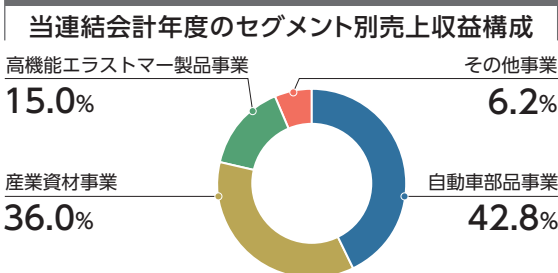
- 機能フィルム製品については、医療用および建築資材用フィルムの販売は増加したものの、工業資材用フィルムおよび装飾表示製品の販売は減少。
- 精密機能部品については、精密ベルトの販売が減少。

産業資材事業			
売上収益	32,765百万円	前年同期比	7.5%減
セグメント利益	2,195百万円	前年同期比	2.5%増

- 伝動ベルトについては、国内では、機械受注の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。海外では、米国において産業機械用伝動ベルトの販売が減少し、中国およびアセアン地域において主要顧客の減産などの影響により農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
- 運搬ベルトについては、国内において鉄鋼向けコンベヤベルトや物流機器向け樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）などの販売が増加。

その他事業			
売上収益	5,575百万円	前年同期比	43.7%増
セグメント利益	595百万円	前年同期比	12.2%増

- ロボット関連デバイス事業、電子資材事業、医療機器事業などが収益に寄与。



※上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

2019年 10月

## 子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得

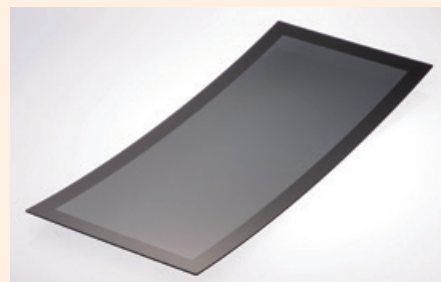
当社は、持続的な企業価値向上のため、多様な人材の育成に努めており、(1)従業員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り健康で働きやすい雇用環境の整備 (2)女性従業員を増やすとともに、女性が活躍できる雇用環境の整備などに取り組み、「くるみん認定」を取得しました。



2019年 11月

## 「C-Touch & Display Shenzhen 2019」に出展(中国・深圳)

車載用ディスプレイのトレンドである曲面ディスプレイにおいて、車載用途で求められる信頼性をクリアしつつ液晶の表示ムラ低減を可能にする光学用透明粘着剤シート(OCA)「Free Crystal®(フリークリスタル)」を紹介しました。



▶ 連結財政状態計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度 (2019.3.31)	当連結会計年度 (2020.3.31)
資産	流動資産	53,564
	非流動資産	48,992
資産合計	102,557	110,297
負債	流動負債	24,232
	非流動負債	10,192
負債合計	34,424	46,387
資本	親会社の所有者に 帰属する持分	67,871
	非支配持分	261
資本合計	68,132	63,909
負債および資本合計	102,557	110,297

▶ 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度 (2018.4.1 から 2019.3.31まで)	当連結会計年度 (2019.4.1 から 2020.3.31まで)
売上収益	94,318	90,247
コア営業利益	6,503	5,252
営業利益	6,815	2,056
税引前当期利益	7,166	2,095
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,457	682

2020年 1月

バンドグループ持続可能な  
開発目標 (SDGs) を設定

世界共通の目標である「持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)」のグループ目標として、中期経営計画 (BF-2) の取り組みとも関連が深く、最も貢献できる目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標8「働きがいも経済成長も」の3つを定めました。



2020年 3月

食品用非付着性ベルト  
「ミスターNスティック™」の販売を開始

近年、食品搬送用途では作業効率を高めるために搬送物ベルトに対する非付着性を高めるなど、搬送以外の機能を向上するニーズが高まっています。このようなニーズにお応えするため、当社では、ベルト表面に細かいしゃもじ絞 (凸型) の形状を成形することで、粘着力の高い搬送物 (特に米飯) に対する非付着性を向上したベルトを開発しました。



# バンダー化学の「搬送ベルト」



食品ラインで活躍する搬送ベルト

近年、搬送の現場ではさまざまな搬送物を運ぶ際の作業効率を向上するため、搬送ベルトに対する非付着性能の向上や、ベルト表面のグリップ力を高めるなど、搬送以外の機能を向上するニーズが高まっています。さまざまな分野で、ベルトの「高付加価値化」が求められており、バンダー化学でもさらなるラインアップ拡充を進めています。

## Φ27mmの小プーリに対応した非付着性ベルト「ミスターウルトラミラー®」

「ミスターウルトラミラー®」は、搬送面にフッ素フィルムをコーティングし、炊き立ての米飯や熱い餅などの搬送に適した非付着性ベルトです。フッ素樹脂フィルムの薄膜化やベルトプライ数を2から1に減少させたことにより、対応可能なプーリ径はΦ27mmと従来品の対応プーリ径Φ75mmの約3分の1となりました。

## 食品用高グリップベルト「ミスタースパイク®」

食品用高グリップベルト「ミスタースパイク®」は、ベルト表面に硬質ポリウレタンを採用し、円錐形のスパイク形状を一体成形したことで、高いグリップ性能とスパイク形状の優れた耐久性を実現しました。このスパイク形状によって、食品送り込みが安定し、ベルト上で搬送物をカットする際の精度向上にも貢献しています。

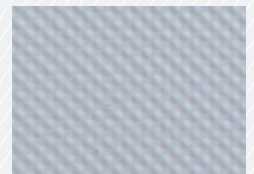
## 物流現場の効率化を実現する急傾斜用「ミスタークライマー®」

グリップ力の維持を大幅にアップさせ、荷滑りの発生を防止しています。耐候性に優れた特殊カバークラムにより高グリップ力を維持するとともに、千鳥配列と縦スジを組み合わせた表面形状により、ベルトに汚れが付着した時のグリップ力低下を最小限に抑えています。物流現場に加え、その他の幅広い業界への用途開拓も進めています。



## 食品用非付着性ベルト「ミスターNスティック™」

ベルト表面を細かいしゃもじ絞(凸型)の形状にすることで、粘着力の高い搬送物(特に米飯)に対する非付着性を向上させています。ベルト裏面が含浸帆布のため蛇行防止機の加工も可能で、非付着性樹脂と耐湿熱樹脂の2タイプを用意することで、幅広い使用条件に対応します。



「ミスターNスティック™」表面の凸型絞形状

## 運搬物の付着・堆積対策に最適な超非付着性コンベヤベルト「イーजीリリース® Neo」

コンベヤベルトの表面の付着物は、ベルトクリーナ等で掻き取りされていますが、付着物が適正な位置でリリースされず、コンベヤシステム周辺に落下・堆積する問題が数多く発生しています。「イーजीリリース® Neo」は従来品よりも大幅に非付着性能を向上させ、ベルトクリーナ等で容易にリリースできるため、運搬物の原材料ロスや堆積物の清掃、設備の不具合などのさまざまな問題解決に貢献します。



超非付着性コンベヤベルト「イーजीリリース® Neo」

## 株式の状況

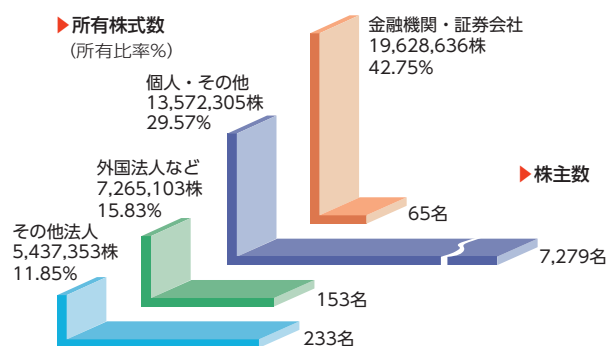
発行可能株式総数	187,000,000株
発行済株式の総数	47,213,536株 (自己株式1,310,139株を含む。)
株主数	7,731名

## 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	3,946	8.60
株式会社三井住友銀行	2,309	5.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,022	4.41
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,002	4.36
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.36
株式会社みずほ銀行	1,800	3.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,691	3.68
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.43
日本生命保険相互会社	1,174	2.56
GOVERNMENT OF NORWAY	951	2.07

(注) 1. 当社は、自己株式を1,310,139株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 出資比率は、自己株式を控除して算出しております。  
3. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

## 株主構成



(注) 所有比率は、自己株式(1,310,139株)を控除して算出しております。

## 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
ホームページアドレス	https://www.bandogrp.com

## 役員

(2020年6月24日現在)

## 取締役

代表取締役社長	吉井 満 隆 (社長執行役員)
取締役	柏田 真 司 (専務執行役員)
取締役	染田 厚 (常務執行役員)
取締役	畑 克 彦 (常務執行役員)
取締役	植野 富 夫 (執行役員)
取締役(監査等委員)	中村 恭 祐 (常勤)
取締役(監査等委員)	重松 崇
取締役(監査等委員)	清水 春 生
取締役(監査等委員)	米田 小百合

## 執行役員

常務執行役員	永瀬 貴 行
常務執行役員	松尾 聡
常務執行役員	岡田 勉
執行役員	山口 勝 也
執行役員	本田 裕 治
執行役員	八木 尚 史
執行役員	野口 忠 彦
執行役員	川原 英 昭

※取締役(監査等委員)重松 崇氏、取締役(監査等委員)清水 春生氏、取締役(監査等委員)米田 小百合氏は社外取締役であります。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.bandogrp.com">https://www.bandogrp.com</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上場取引所	東京(第1部)

## 〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

